

■営業本部

■第一営業部	
鹿児島営業所:	鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062 Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
南薩営業所:	鹿児島県南九州市知覧町瀬世牧口1160 〒897-0305 Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283
大島営業所:	鹿児島県奄美市住用町城547 〒894-1111 Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055
北薩営業所:	鹿児島県薩摩川内市中福良町2135-1 〒895-0042 Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962
始良営業所:	鹿児島県始良市平松1880 〒899-5652 Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205
大隅営業所:	鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032 Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006
沖縄営業所:	沖縄県那覇市宇栄原6-14-5 ヒロマンション101号 〒901-0153 Tel.098-943-5624 Fax.098-943-5629

■第二営業部	
宮崎営業所:	宮崎市田代町6-1 〒880-0855 Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
日南営業所:	宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033 Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580
都城営業所:	宮崎県都城市高城町石山2980 〒885-1205 Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826
延岡営業所:	宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104 TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442
大分営業所:	大分市上戸次字長河原3700番地 〒879-7764 Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607

■第三営業部	
福岡営業所:	福岡市博多区東比恵3丁目13-10 スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007 Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
北九州営業所:	北九州市小倉南区下城野3丁目-25 〒802-0804 オフィスハレア下城野1 B棟4号 Tel.093(482)3581 Fax.093(482)3583
福岡南営業所:	福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001 Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281
対馬出張所:	長崎県対馬市上県町登滝1062 〒817-1522 Tel.0920(88)5800 Fax.0920(88)5801
熊本営業所:	熊本市中央区八王寺町30-1 メインプレイス熊本南2-A 〒860-0831 Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532

■総合技術研究所

鹿児島技術課:	鹿児島県始良市平松3141-1 〒899-5652
開発課:	Tel.050(3085)9434 Fax.0995(55)1070
兵庫技術課:	兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311 Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302

■関連会社

東京セメント工業(株)

本社: 東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931
Tel.042(623)7788 Fax.042(625)1777

関東営業所:	東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931 Tel.042(624)5485 Fax.042(624)0496
福島営業所:	福島県西白河郡矢吹町諏訪の前15番地 〒969-0247 Tel.0248(44)2611 Fax.0248(44)2614
栃木営業所:	栃木県那須塩原市鍋掛1091番43-2F 〒325-0013 Tel.0287(62)2340 Fax.0287(62)2342
仙台営業所:	宮城県大崎市松山千石字一本松51番地 〒987-1304 Tel.0229(55)3131 Fax.0229(55)3139
仙台事務所:	仙台市青葉区北目町1番18号 ピースビル北目町 8F 〒980-0023 Tel.022(796)5071 Fax.022(796)5072
技術部:	東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931 Tel.042(624)5485 Fax.042(624)6373
開発事業部:	東京都八王子市台町2丁目15番20号 〒193-0931 Tel.042(623)7783 Fax.042(625)1777

山口インフラテック(株)

山口県防府市大字植松741 〒747-0836
Tel.0835(29)0021 Fax.0835(29)2940

(株)佐藤コンクリート工場

本社: 福岡市東区多の津四丁目16番15号 〒813-0034
Tel.092(612)2311

飯塚工場: 福岡県飯塚市内住2795 〒820-0713
Tel.0948(72)4335 Fax.0948(72)4336

■東日本営業部	
東京営業所:	東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003 Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283
仙台営業所:	仙台市青葉区上杉3-9-4 マエタビル3F 〒980-0011 Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132

■西日本営業部	
大阪営業所:	大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー5F 〒532-0011 Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
和歌山営業所:	和歌山県岩出市高瀬岩宮84-2 岩出NDビル101号室 〒649-6234 Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720
(田辺):	和歌山県西牟婁郡上富田町市ノ瀬78-1 〒649-2107 Tel.0739(48)0331 Fax.0739(49)0213
(御坊):	和歌山県日高郡日高町原谷270番地 〒649-1201 Tel.0738(63)2237 Fax.0738(63)2515
広島営業所:	広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F 〒731-5133 Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056
京都営業所:	京都市伏見区深草鞍ヶ谷12番地6 〒612-0822 Tel.075(646)2525 Fax.075(646)3877
兵庫営業所:	兵庫県小野市万勝寺町969-1 〒675-1311 Tel.0794(70)7280 Fax.0794(70)7302
鳥取営業所:	鳥取市上段261-1 〒680-1421 Tel.0857(24)1840 Fax.0857(23)0018
出雲営業所:	島根県出雲市斐川町上庄原1654-3 〒699-0505 Tel.0853(72)0244 Fax.0853(72)0245
名古屋営業所:	名古屋市熱田区神宮3-7-1 ベンてんビル5F 〒456-0031 Tel.052(684)7258 Fax.052(684)7259
三重営業所:	三重県伊勢市小俣町元町1603-1 〒519-0503 Tel.0596(22)1285 Fax.0596(22)1293
静岡営業所:	静岡県掛川市本郷416番地 〒436-0111 Tel.0537(26)2221 Fax.0537(26)0519

■設計技術部	
鹿児島設計技術課:	鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062 Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
宮崎設計技術課:	宮崎市田代町6-1 〒880-0855 Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
福岡設計技術課:	福岡市博多区東比恵3丁目13-10 スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007 Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
西日本設計技術課:	大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー5F 〒532-0011 Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
東日本設計技術課:	東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町9F 〒105-0003 Tel.03(6205)4282 Fax.03(6205)4283

※社会情勢により、やむなく価格、形状を変更する場合がございますのでご了承ください。



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- 本カタログに記載する製品の仕様および性能は、該当製品の一般的な使用条件として揭示するものです。特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。

担当部署

販売店

雑草対策のパイオニア

インフラテックの防草製品



防草対策製品のパイオニアとして…

インフラテック株式会社は、1990年「GSボード」の販売を皮切りに、優れた品質の防草対策製品の供給を通じて、除草コストの削減や安全で快適な道路環境整備のお役に立ってまいりました。

この間、より良い製品を安定供給するため、様々な技術革新に取り組み業界をリードする独自のデザイン性と高い技術力で皆様から大きな信頼を頂いております。

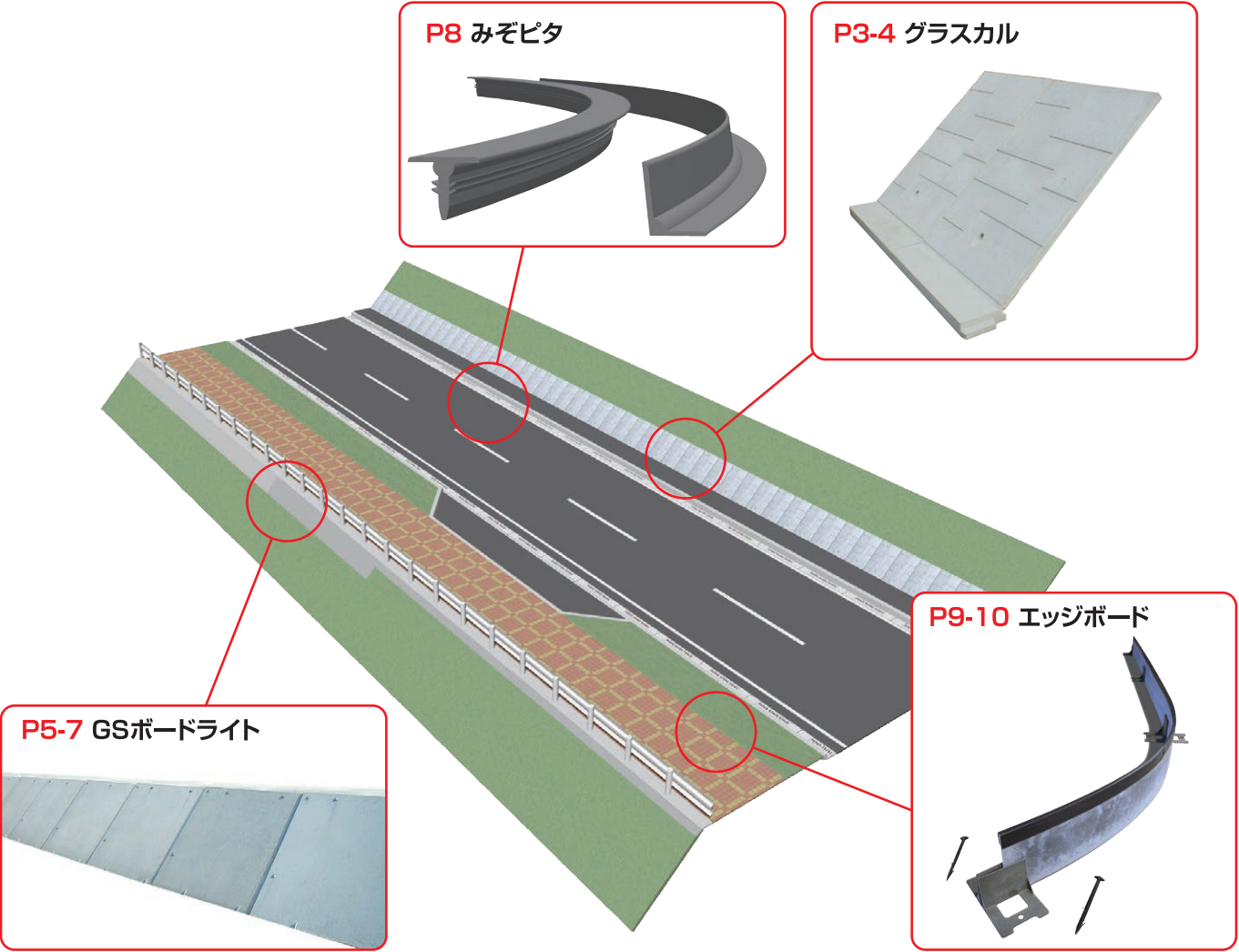
お年寄りや子供たちが安心して住むことができるまち作りや環境に配慮した社会基盤整備が全国で行われます。インフラテック株式会社は、これまでに培ってきた総合力で、グループをあげてこれに貢献して参りたいと考えております。

代表的な製品の2020年7月までの納入実績

グラスカル:64,200m

GSボードライト:137,200m

道路空間の様々な箇所で使用可能です。



■表示記号について

DL download

図面ダウンロードサービス

GRC

ガラス繊維補強セメント製品

NETIS登録
KT-000000-VE

新技術情報提供システム登録

NETIS掲載終了
KT-000000-V

新技術情報提供システム掲載終了

DL download

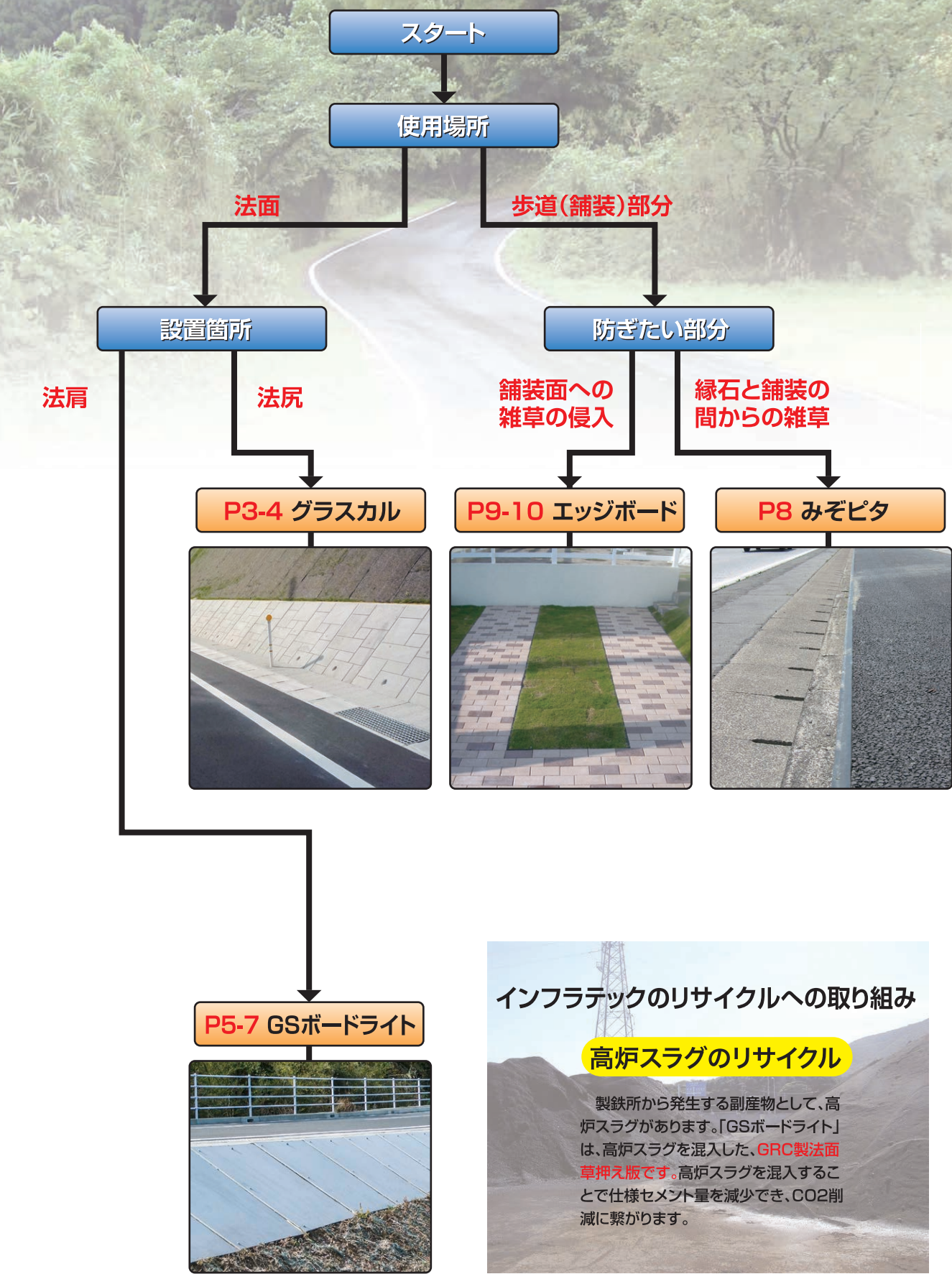
●図面ダウンロードサービス

弊社製品をご利用頂くお客様に、図面ダウンロードサービスを提供致しております。ご利用には事前に登録・申込が必要です。

申込は弊社営業担当に連絡していただいても結構ですが、ホームページからの申込も可能です。

ダウンロードの対応している製品には **DL** マークが表示されています。

製品選定のフローチャート



インフラテックのリサイクルへの取り組み

高炉スラグのリサイクル

製鉄所から発生する副産物として、高炉スラグがあります。「GSボードライト」は、高炉スラグを混入した、**GRC製法面草押え版**です。高炉スラグを混入することで仕様セメント量を減少でき、CO2削減に繋がります。

グラスカル〈法面草押え版〉

NETIS掲載終了
QS-030071



商標登録第4609505号

除草作業の問題を解消します。

グラスカルとは…

メンテナンスフリーの草刈り対策が要望されているなか、道路法面に設置することにより、草刈りの環境改善を目的とした法面草押え版です。

●特長

1.メンテナンスフリー

メンテナンスフリーの対策として歩道及び車道部に設置し、除草作業の問題を解消します。

2.安全性

雑草が車両の視線誘導の障害となることを防ぎ、歩行者通行の障害も防ぎます。

3.景観性

製品表面が景観的に配慮した石肌模様でデザインしており、周囲の環境と調和します。

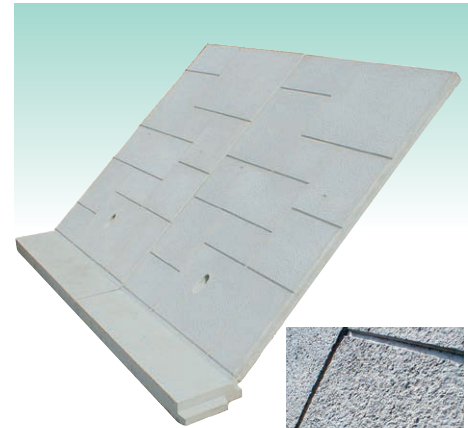
4.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てなどによる火災の発生を防止します。

5.施工性

法面草押え版本体と底版ブロックの接合面を曲面加工にしており法面勾配に対して施工がフレキシブルに対応できます。

※吊り金具は、アイボルトM-16をご用意下さい。

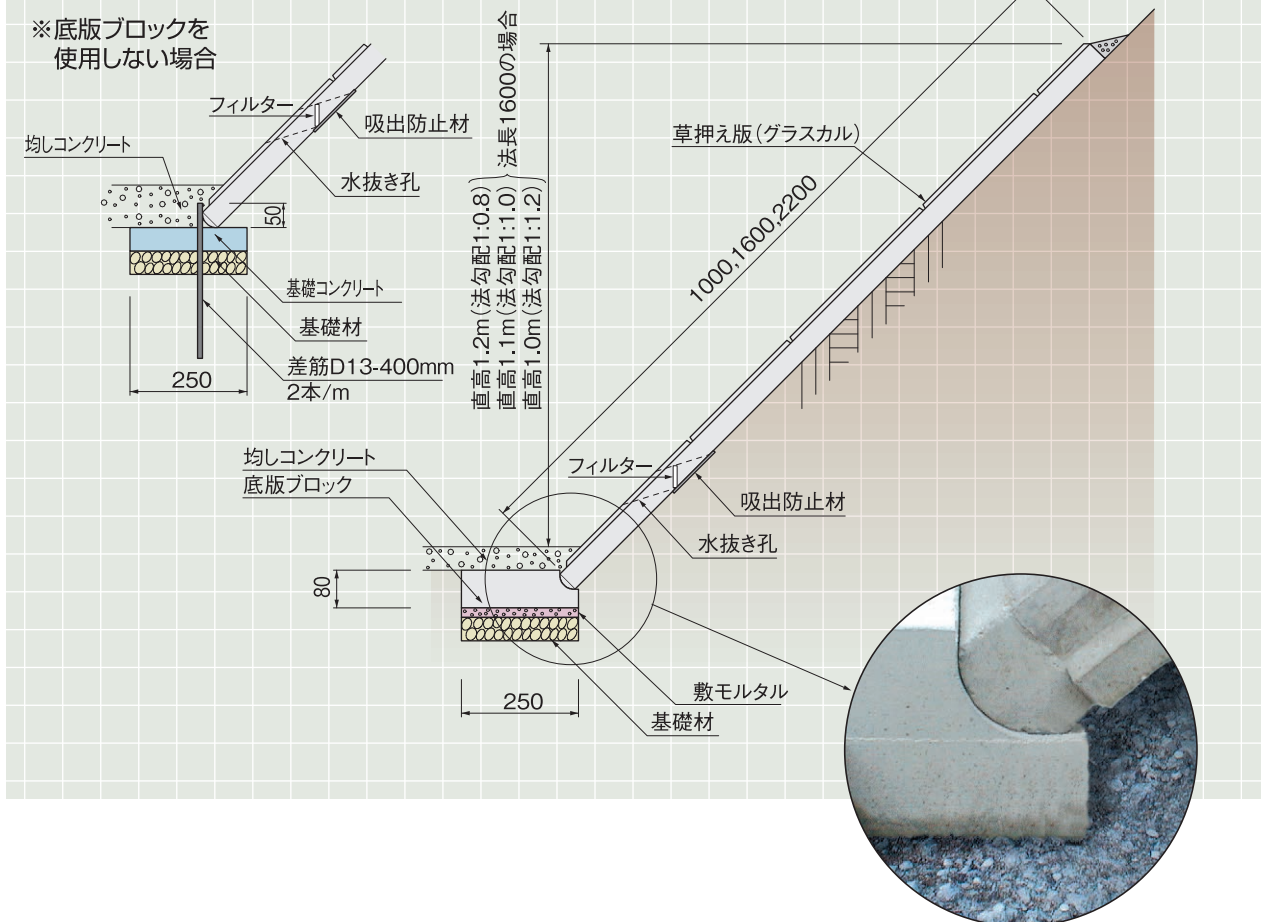


▲グラスカルの石肌模様の表面部の拡大図



■標準施工断面図

※法長1100、1600、2200に対応します。



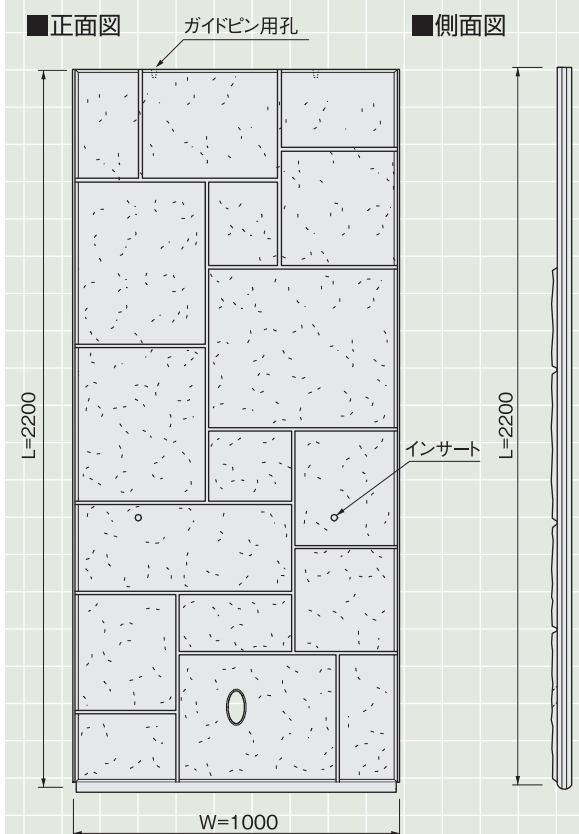
標準施工
断面図

基本形状図

形状・寸法・重量

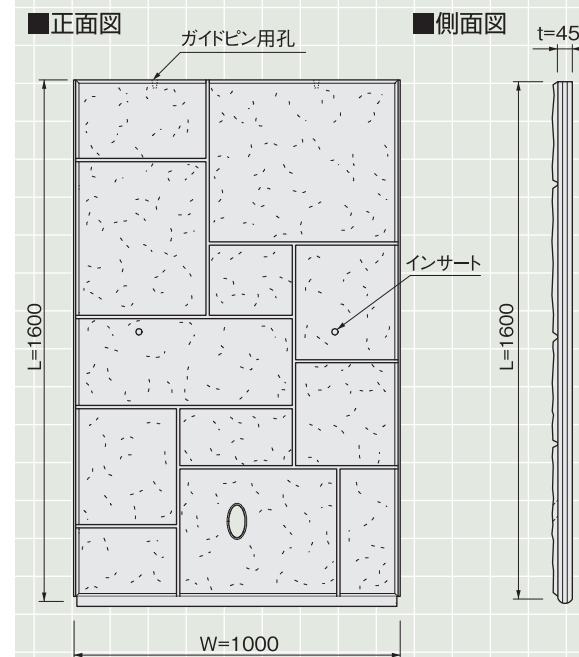
本体パネル

参考重量=L2200-264kg



本体パネル

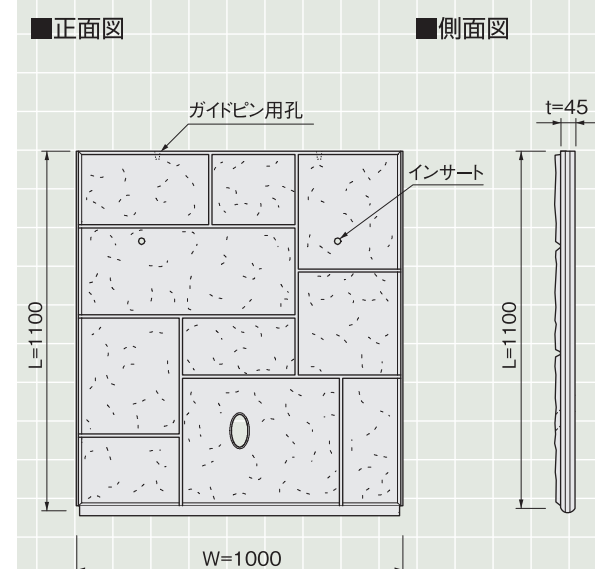
参考重量L=1600-192kg



本体パネル

参考重量L=1100-132kg

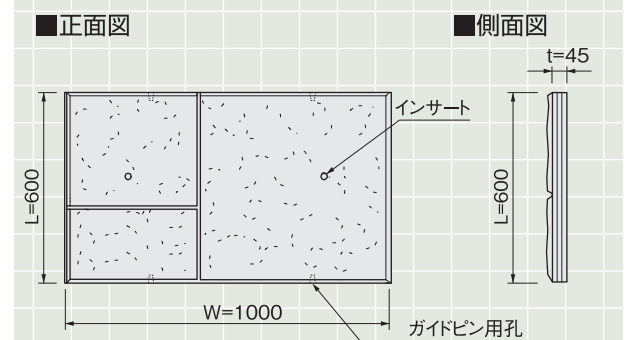
※本体パネルL1100は受注生産品となります。



上部連結用パネル

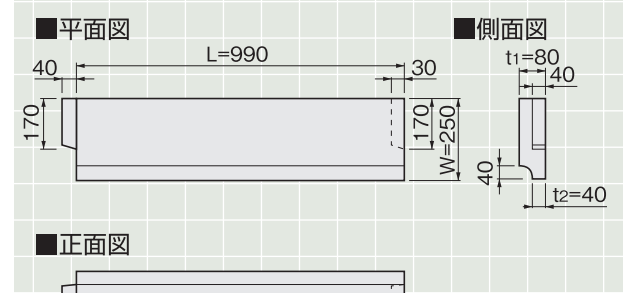
参考重量=72kg

※上部連結パネルは受注生産品となります。



底版ブロック

参考重量=43kg



※地域により底版ブロックの凹凸吻合部が逆になる場合があります。

GSボードライト〈GRC製草押え版〉



道路環境の維持管理に効果を発揮します。

高耐久性・高耐候性 不燃材料:NM-8313

●特長

1.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てによる火災の発生を防止します。
(不燃材料:NM-8313です)

2.安全性

雑草が車の運転の障害になるのを防ぎ、歩行者にも通行しやすい環境を保持します。

3.施工性

GRC素材の薄肉版で超軽量(従来のGSボードの約2割軽量)ですので、人力での運搬取付が容易です。また、天端コンクリートの打設も従来のGSボードより容易になりました。

4.安定性

専用金具(ボードファスナー)により版と版を強固に連結し、天端コンクリートを打設するため、本体は軽量でも強風等でめくれる心配はありません。

5.密閉性

版接続部を専用金具(ボードファスナー)と支承ゴムで一体化することにより密閉され、隙間からの雑草の育成を抑制します。また太陽光も完全に遮断します。



施工手順

製品連結部分(製品裏面の丸孔側)に支承ゴムを貼り、左右の製品を10cm重ねて設置し(写真2参照)、下部はL字アンカー筋で、左右はボードファスナーで、天端は埋設プレートでそれぞれ固定します。

【参考写真】
専用工具『ボードクイッカー』



埋設プレートはボルトナットで製品本体に取付け、差筋で固定します。製品とコンクリートの間に隙間ができないように、棒パイプ等で入念に充填しながら路肩部に天端コンクリートを打設します。



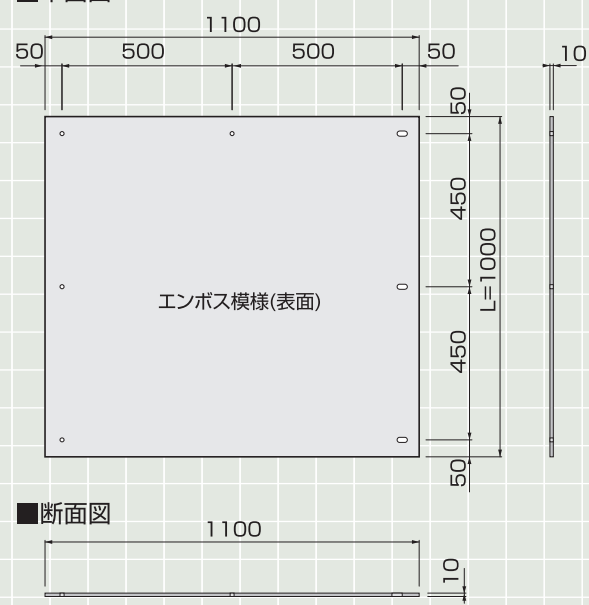
完成。

※左の写真は試験施工ですので、実際の製品と金具の位置等が異なる箇所があります。
※法面整形時に必ず除草(木の根処理)してください。
※製品据付は法面成形の仕上がりに影響されますので、法面成形は正確に行ってください。
※連結金具ボードファスナーは専用工具ボードクイッカーで固定してください。
※天端コンクリートの伸縮目地は、製品接合部に合わせてください。
※製品下部の土壌浸食を考慮する場所では、植生ネット、土壌流出防止ネットなどで対応してください。

基本形状図
標準施工図

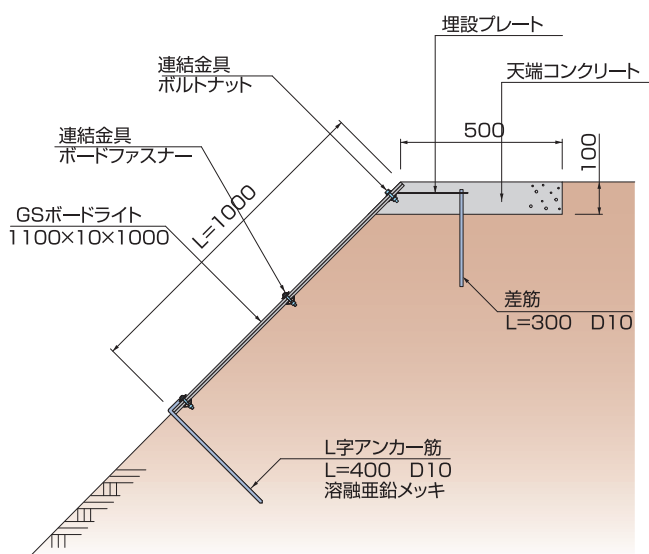
本体 参考重量=23.7kg

■平面図



L=500~2000まで対応可能です。

■標準施工図



※差筋・L字アンカー筋は現場の状況により長くなる場合がございます。

GSボードライト施工写真



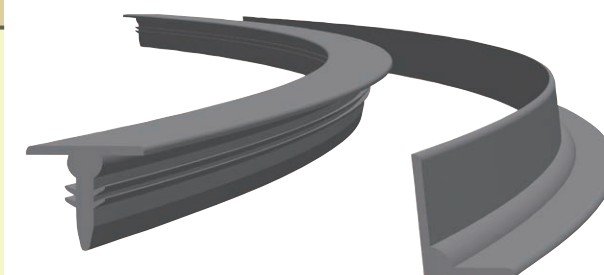
グラスカル施工写真



みぞピタ〈防草シール材〉

●特長

- 1.コンクリート構造物とアスファルト舗装の隙間から生える雑草を防止するゴム製のシール材です。
- 2.コンクリート構造物とアスファルト舗装の間にカッターを入れるため、隙間の中の雑草まで取り除くことができます。
- 3.特殊なくさび状の断面形状で溝から抜けにくくなっています。
- 4.新設時に使用できるタイプ(Bタイプ)もございます。

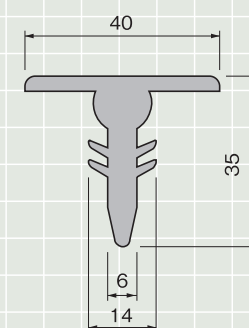


Aタイプ

Bタイプ

Aタイプ

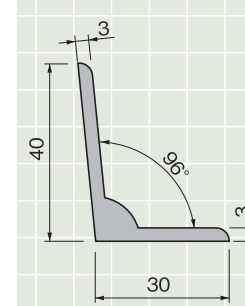
■断面図



マウンドアップに対応

Bタイプ

■断面図



セミフラットに対応

基本形状図

形状・寸法

- ① 約1cmの溝ができるようにカッターを入れます。



- ② 2～3m間隔で、みぞに接着剤を注入します。



- ③ 製品1ロールは10m(Bタイプは3m)です。



- ④ 溝の中に製品下部を押し込んでいきます。



- ⑤ 最後の部分は、ハサミ等で切って調整してください。



施工手順

エッジボード〈GRC製仕切り板〉

GRC

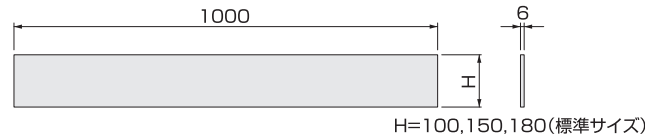
エッジボードは、芝生やグランドカバープランツと舗装材や砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備にすばらしい効果を発揮します。

●特長

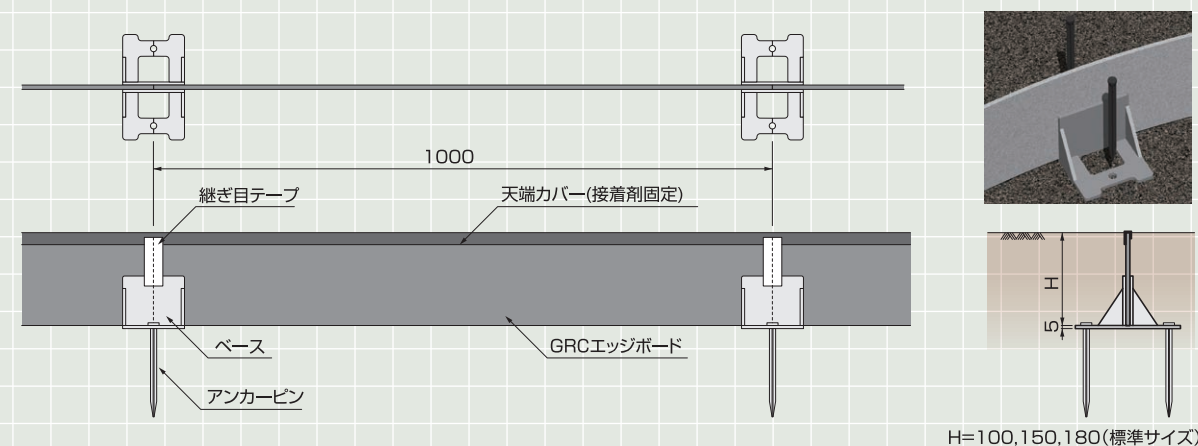
- 1.従来のプラスチック製品と違って、直線部が美しく仕上がります。
- 2.薄板なので、1mRのカーブも対応可能。美しいエッジラインを演出します。
- 3.主材がGRC製で熱に強く、アスファルト施工にも対応できます。
- 4.敷地の有効利用が可能で段差ができないバリアフリー対応です。

■形状・寸法

■標準寸法



■標準施工図



※標準寸法以外のサイズも特注で対応いたします。詳細は営業担当にご相談下さい。

園路や遊歩道に最適



園路等の見切り材として

天端幅が6mmなのでスッキリとした景観を創出できます。

敷砂の流出は不陸の原因になります



舗装材の敷き砂 流失防止として

ブロック系舗装の、不陸の原因の一つである敷き砂の流出防止が期待できます。

縁石よりもすっきりした 仕上がりになります



インター ロッキング舗装の見切り材として

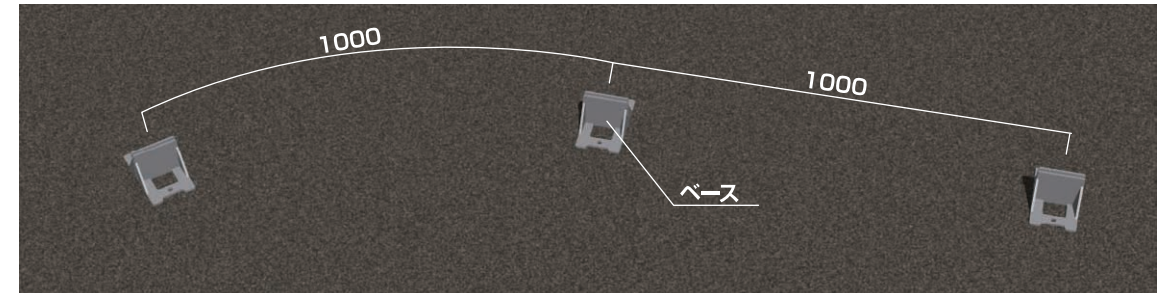
基本的な歩行者系道路であれば、インターロッキングの見切り材として使用できます（路盤構成に応じたサイズを使用します）

エッジボード施工手順

施工手順

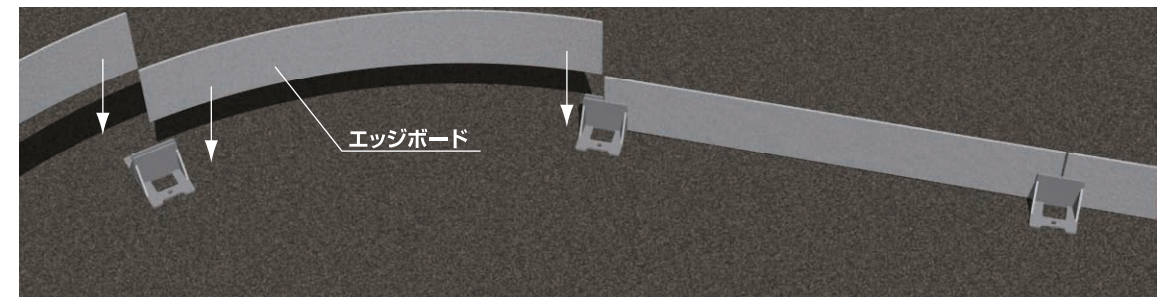
①ベース設置

床掘り後、高さを合わせて、エッジボード本体の継ぎ目の位置にベースを設置します。



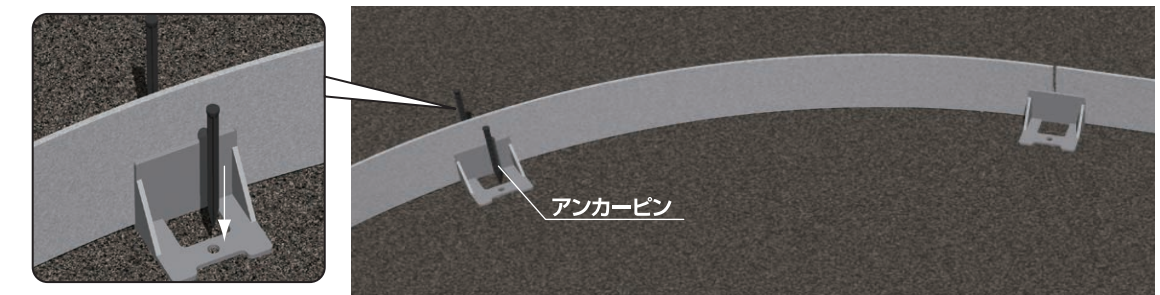
②エッジボード挿入

ベースのスリット部にエッジボードを挿入し、高さを微調整します。R部分は、所定のRになるように、手で少しずつ曲げてから挿入する。急激に曲げると割れる場合があります。



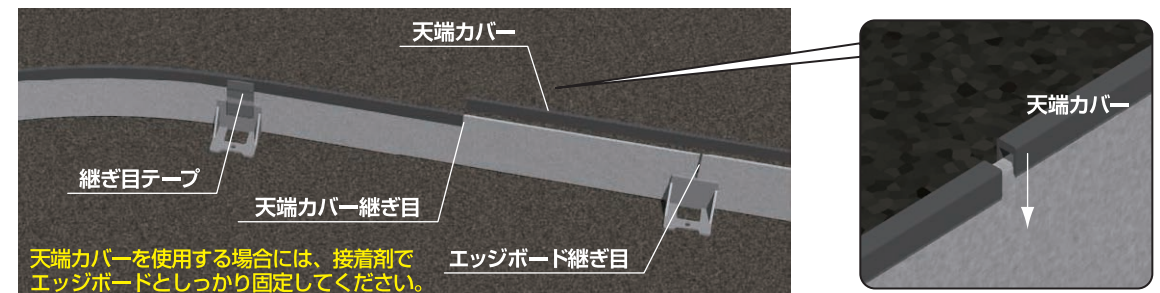
③アンカー打込み

ベースにアンカーピンを打込みずれないようにします。（カーブ部など、ベースが動く可能性があるところだけでも可）



④天端カバー

エッジボードの継ぎ目と天端カバーの継ぎ目が、重ならない位置に挿入し接着剤で固定します。芝生・雑草等の根の侵入の防止と、天端カバーのズレ抑制を兼ねて、エッジボードの継ぎ目にテープを貼ります。



※天端カバーは転圧時に製品天端を保護する役割ですので、コンクリート舗装等の転圧をしない舗装の場合は必要はありません。また、天端カバーはアスファルト舗装の冷却時に縮み、継ぎ目に隙間ができる可能性があります隙間が目立った場合は、天端カバーの余りを切って挿入してください。

※舗装材側の基礎材及び埋め戻しと反対側の埋め戻しは製品がズレないように均等に投入してください。さらに、埋め戻した材料を数回に分けて足で踏み固めると、製品がより強固に固定されます。

※天端カバーの向きに指定はありませんが、R施工の場合はRの内側に短い方を使用すると施工が容易です。

